

研究機関：広島大学

研究課題名 食道手術患者に対する鎮痛・鎮静プロトコルの有用性の検討
研究責任者名 広島大学大学院 医歯薬保健学研究科麻酔蘇生学 教授 河本昌志
研究期間 2018年8月2日(倫理委員会承認後)～2021年3月
対象者 2018年1月から8月までの間に広島大学病院で食道癌に対し待機的食道手術を施行された患者。
意義・目的 全年代の看護師が安全且つ統一した鎮痛・鎮静を継続できるようになるために、SICU(外科系集中治療室)独自のプロトコルを導入しました。その有効性を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法 本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、SICU入室から気管チューブ抜去までの時間、RASS・BPSスケール、鎮痛薬・鎮静薬の使用状況等です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません) ※RASS: Richmond Agitation-Sedation Scale の略。鎮静レベルの評価法の1つ。0を中心に10段階に分かれており、プラスでは興奮、マイナスでは鎮静が強いと評価する。 ※BPS: Behavioral Pain Scale の略。コミュニケーションが取れない場合の痛みの評価法の1つ。表情・上肢の運動・呼吸器との同調性をスコア化して評価する。3～12点で高い方を痛みが強いと評価する。
共同研究機関 なし
試料・情報の管理責任者 広島大学大学院 医歯薬保健学研究科麻酔蘇生学 教授 河本昌志
個人情報の保護について 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 広島大学病院 麻酔科 助教 加藤 貴大 TEL:082-257-5267 広島大学病院 看護部 看護師 橋本 晃洋 TEL:082-257-1708(外科系集中治療室)